



第97号 発行所 小田原市役所 小田原市幸1の138 編集兼発行人 浦 寅 松 定価 一部三円 文進堂印刷所

人口 118,601人 男 58,297人 女 60,304人 世帯 23,750 4月1日現在

### 新年度予算きまる

#### 市立病院 条例なども 三月市議会定例会終る

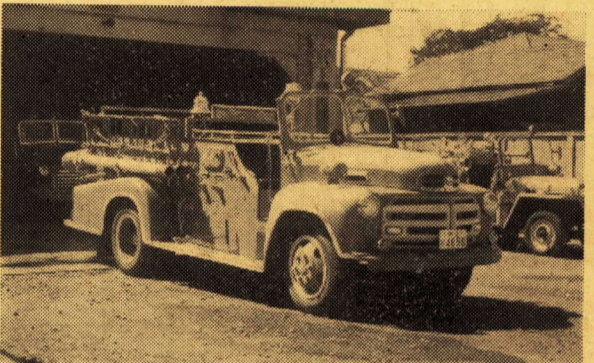
三月七日から会期二十日間の市議会定例会は、三月二十六日の再開本会議をもって閉会された。市議会定例会は、三月二十六日の再開本会議をもって閉会された。市議会定例会は、三月二十六日の再開本会議をもって閉会された。市議会定例会は、三月二十六日の再開本会議をもって閉会された。



### 威張山林道が完成

#### 総工費は1,200万円

威張山林道開設工事は、市直営継続事業として昭和二十九年年度の第一期工事に着手以来四力年計画により工事が進められておりましたが、このほど第四期工事が完了し、三月二十三日関係者多数列席のもと盛大な竣工式が行われました。



### 消防陣に新威力

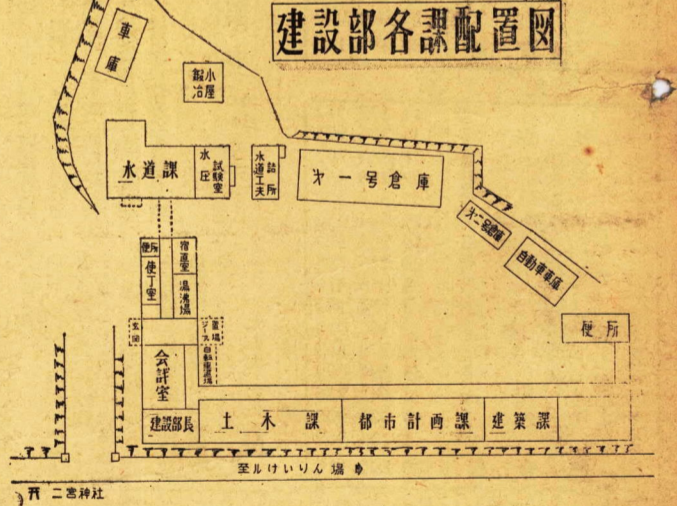
#### 「損保号」寄贈さる

このたびは社団法人日本損害保険報知機株式会社のポンプを取り付け、協会から消防車「損保号」が本市に寄贈され、この受納式が四月十日午後一時から関係者多数が列席して、市中公民館においておこなわれました。

### 池田六郎氏が就任

#### 市消防団長に

本年四月一日、小田原市消防団正副団長改選により左記の人が任じられました。



### 建設部各課室の配置替え

このほど分庁舎(宮神社横)の建設部各課室の配置替えを別掲配置図のように行いましたので、市では都市計画課の新設に伴いお知らせいたします。

### 免許証の書換え

#### 危険物取扱者など

本市で発行していた危険物取扱者(昭和三十年四月以後交付のもの)は、又左記の条件に該当する方で危険物取扱主任者の免許をうけたい人は五月十五日までに消防本部へ申し込んで下さい。

### 小田原市中小企業小口融資条例

従前の規程によると、市は融資保証金を金融機関に預託し、金融機関は中小企業者に対し融資を行い、万一債務者や連帯保証人がその債務を完済できないうときは市がその負債額を保証することになっておりましたが、今回この権利義務を明確にするため代位弁済の規定を設けると共に、これを条例化するが適当と考えられたので従前の規程を廃止して新たに本条例を定めたとあります。

### 初代事務長に小泉氏

#### 人事異動

このたび都市計画課並びに小田原市立病院が新設されたので、これに伴い四月一日及び四月十二日付でそれぞれ職員異動が行われました。

### 水道利用のみなさんへ

皆様の絶大な御協力により、本市水道事業は昭和三十一年給水開始以来年々共に進展し、現在約一万世帯の給水戸数を数えるようになりました。

### 新条例の概要

三月市議会定例会で議決された主な条例の概要は次のとおりです。

#### 小田原市立病院条例

本条例は、市立病院の設置に伴いその設置場所や診療上の原則、職員の職務内容、或は病院運営の方法等を定めたものであります。

#### 小田原市都市公園条例

都市公園の健全な発達をはかり、公園福祉の増進に寄与するため都市公園法が昭和三十一年四月公布、同年十月十五日施行されたので、本市でも同法第十八条の規定により公園の設置及び管理に必要となる行為、利用の制限又は禁止その他事項を定めることとされています。

#### 小田原市役所部課設置条例の一部を改正する

本条例は、市域の拡大に伴い、道路、水路、区画整理、用途別の地域指定、公園及び首都圏整備計画等都市計画関係事業の事務量が非常に増大し、又今回小田原市都市公園条例の制定により公園の管理、運営等についてもその所管を明らかにする必要があるため、従来からの土木課計画課と区画整理課を統合し、新たに都市計画課を設置するために定められたものであります。

#### 小田原市中小企業小口融資条例

従前の規程によると、市は融資保証金を金融機関に預託し、金融機関は中小企業者に対し融資を行い、万一債務者や連帯保証人がその債務を完済できないうときは市がその負債額を保証することになっておりましたが、今回この権利義務を明確にするため代位弁済の規定を設けると共に、これを条例化するが適当と考えられたので従前の規程を廃止して新たに本条例を定めたとあります。

### 保育園が落成

この工事の完成により従来曾我小学校内に置かれていた同保育園は、近く新築成った建物に移ることになり従前にまして充実した保育が期待されます。

### 建設部各課室の配置替え

このほど分庁舎(宮神社横)の建設部各課室の配置替えを別掲配置図のように行いましたので、市では都市計画課の新設に伴いお知らせいたします。

### 土地の立入りについて

#### 電報電話局からのお願い

多年の懸案であった電報の自動改式工事が、いよいよこの四月中旬から市内各地区ではじまりました。

### 水道利用のみなさんへ

皆様の絶大な御協力により、本市水道事業は昭和三十一年給水開始以来年々共に進展し、現在約一万世帯の給水戸数を数えるようになりました。

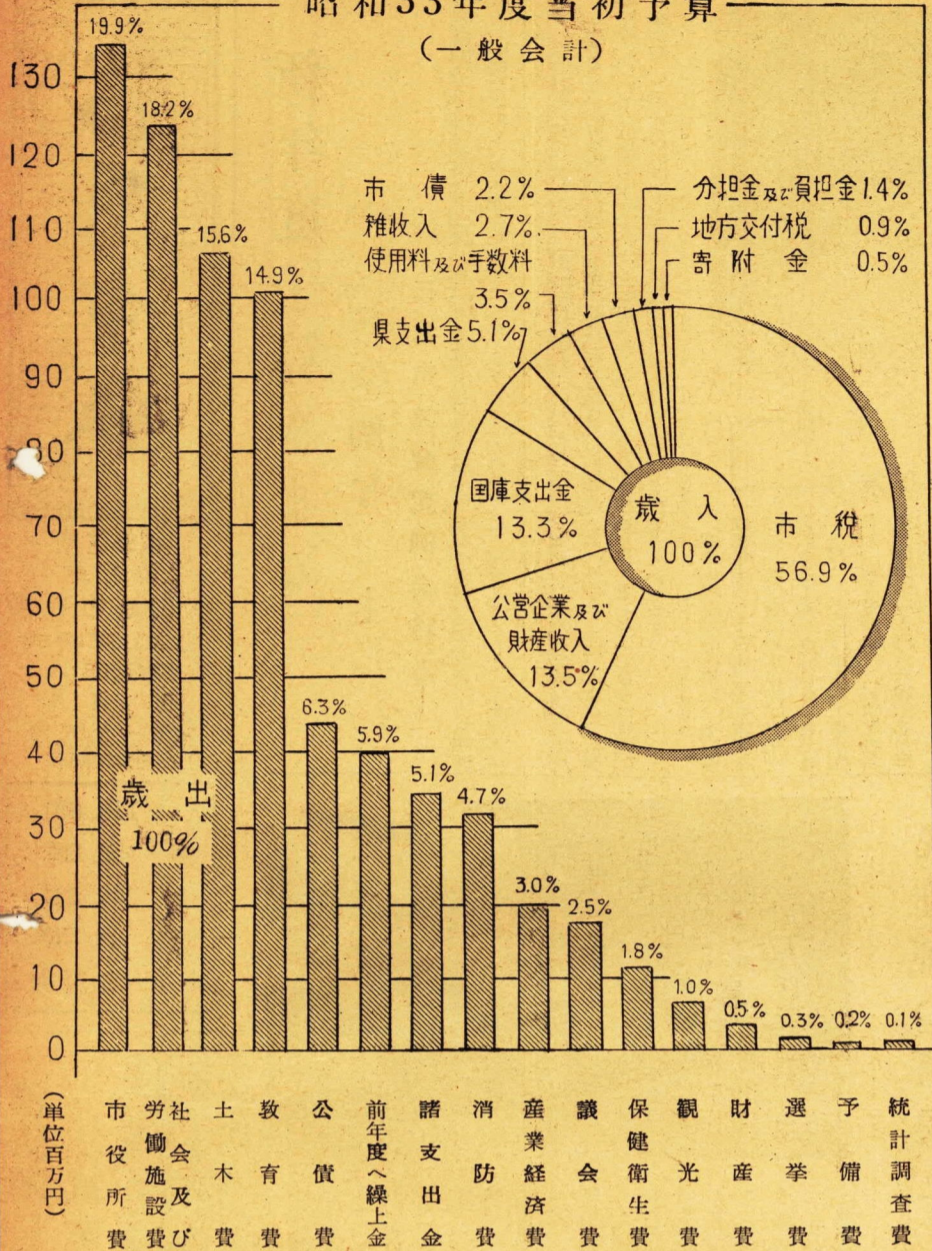
### 建設部各課室の配置替え

このほど分庁舎(宮神社横)の建設部各課室の配置替えを別掲配置図のように行いましたので、市では都市計画課の新設に伴いお知らせいたします。

電話国府津 一六六 東海管工業 株式会社 小田原市新玉 四ノ五六〇 電話小田原二四 二六・二〇六三 株式会社 井戸清商店 小田原市緑三三四五 電話小田原一五三二 株式会社 田部井商店 小田原市緑一四〇六 電話小田原一七四 株式会社 田中組 小田原市幸一ノ 電話小田原一ノ 株式会社 小田原市幸一ノ 電話小田原一ノ 株式会社 小田原市幸一ノ 電話小田原一ノ

昭和33年度当初予算

(一般会計)



33年度予算のあらまし

予算総額 1,610,458,681円

一般会計

一般会計や各特別会計を合わせて総額十六億一千四百五十八万八千八百一十一円に上る小田原市の昭和三十三年予算は、別項掲載の通り三月七日から開かれた市議会定例会で慎重審議されましたが、三月二十六日の再開本会議で一部修正の上可決されました。

今回議決された新年度予算は、これからさき一年間市民生活に大きな影響を及ぼすものとして、道路の整備や学校、住宅の建設に、或は保健衛生、福祉事業の推進に、又文化、産業の育成助長等いろいろな事業に使用されることになり、また、次に新年度予算の概要をお知らせして市民の皆さんの市政に対する深い御理解と御協力を願う次第であります。

歳入

市税

本年度の一般会計予算は、三月市報の施政方針で編成の大綱が示された通り、本年度が自主財政再建計画の最終年度に当るので、歳入は確実に見込み得る年間収入を歳出の一部事業を除いた年間予算と残存計画赤字四千万円の解消費をそれぞれ計上した総額六億八千八百九十九万一千四百一十円と見込んでおります。この予算額は、前年度に比べ二億五千六百六十一万二千四百十二円減少しておりますが、これは赤字額の解消の関係であり、見込みは前年度とほぼ同額と見込んでおります。市税は、所得税の一千億円の増収を以て、前年度に比べ一億二千二百一十九万九千九百九十九円増収を計上しております。市税は、歳入の五、九〇年度予算額との比較は前年度の増収は自然増収を見込んで、昭和三十三年の増収は前年度に比べ一億二千二百一十九万九千九百九十九円増収を計上しております。市税は、所得税の一千億円の増収を以て、前年度に比べ一億二千二百一十九万九千九百九十九円増収を計上しております。

投資的経費の内訳

事業名	金額(単位円)
入札費	600,000
工事費	100,000
事務費	50,000
建設費	1,600,000
改良費	9,946,000
修繕費	3,000,000
復旧費	800,000
調査費	1,517,000
測量費	600,000
測量費	3,000,000
測量費	6,000,000
測量費	36,797,451
測量費	950,000
測量費	18,134,000
測量費	13,862,500
測量費	2,500,000
測量費	2,150,000
測量費	4,000,000
測量費	1,600,000
測量費	700,000
測量費	1,200,000
測量費	1,000,000
測量費	2,680,000
測量費	700,000
測量費	102,000
測量費	5,975,585
測量費	3,045,342
測量費	2,371,700
測量費	800,000
測量費	120,000
測量費	183,000
測量費	50,000
測量費	310,000
測量費	75,000
測量費	21,981,952
測量費	100,000
測量費	90,000
測量費	840,000
測量費	560,000
測量費	300,000
測量費	45,000
測量費	375,350
測量費	2,509,390
測量費	1,000,000
測量費	300,000
測量費	1,131,070
測量費	290,000
測量費	100,000
測量費	500,000
測量費	50,000
測量費	25,000
測量費	90,000
測量費	605,800
測量費	30,000
測量費	145,000
測量費	47,700
測量費	200,000
測量費	40,000
測量費	10,000
測量費	158,474,840

地方交付税

地方交付税については前年度実績に基き六百三十五万五千円(〇・九%)が計上されております。

公営企業収入

公営企業及び財産収入においては九千二百六十五万七千八百九十九円(一三・五%)が計上されております。

国庫支出金

国庫支出金においては九千六百八十四万四千六百六十一円(一三・三%)が計上されております。

県支出金

これには、競輪事業特別会計からの益金九千九百九十九円(〇・一%)が計上されております。

分担金及び負担金

分担金及び負担金においては、

雑収入

雑収入においては、

33年度当初予算

歳入	金額(単位円)
市税	387,398,510
雑収入	6,035,000
使用料及び手数料	91,657,819
市債	23,952,832
県支出金	90,684,461
分担金及び負担金	34,898,597
地方交付税	3,504,355
公営企業収入	18,414,553
財産収入	15,000,000
合計	680,895,111

歳出	金額(単位円)
国庫支出金	17,277,512
県支出金	135,706,973
市税	31,840,702
雑収入	106,228,461
使用料及び手数料	101,389,519
市債	123,684,452
県支出金	12,253,322
分担金及び負担金	20,458,396
地方交付税	6,936,478
公営企業収入	3,794,189
財産収入	365,020
雑収入	1,908,053
使用料及び手数料	43,094,699
市債	34,642,826
県支出金	40,000,000
分担金及び負担金	1,284,469
地方交付税	680,895,111

歳出

次に歳出予算の概要について述べておきましょう。

経費的区分

先ず歳出予算を経費的に区分し、投資的経費(一三・二七%)と消費的経費(八六・七三%)とに分けておきましょう。

投資的経費

投資的経費は、

消費的経費

消費的経費は、

市役所費

市役所費は、

戸籍改製費と支所連絡用の自動車購入費を計上

戸籍改製費と支所連絡用の自動車購入費を計上するに当たっては、

寄附金

寄附金においては、

雑収入

雑収入においては、

市債

市債においては、

議公費

議公費は、

予備費

予備費は、

市債

市債においては、

議公費

議公費は、

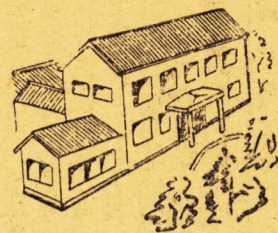
予備費

予備費は、

教育費

小・中で十七教室を増改築 給食作業員の給与も改善

教育費におきましては、前年度中学校第三期工事費(三教室分)より四百六十四万八千三百六十八円...



保健衛生費

小学校費は三千五百五十七万六千八百三十一円であり、今年には特別に一部授業の発生を防ぐため...

保健衛生費では、二千二百二十円伝染病隔離病舎費として、隔離病舎五万三千三百三十一円...

土木費

土木費におきましては、前年度の実績を勘案して一億六千二百一十二万八千四百六十一円...

都市計画事業を遂行 下水道は旧市内を中心に実施

都市計画費では四千八百五十五万五千四百六十一円が計上されており、その内容は、鴨宮駅中心付近...

社会福祉費

社会及び労働福祉費では、前年度より二千五百五十四万四千四百五十九円...

市営住宅 24戸を建設 77歳以上の老人には祝金

市営住宅建設費は、前年度より一億九千九百九十九万九千九百九十九円...

産業経済費

産業経済費では、二千四百五十八万八千九百九十九円...

農道十三線の改良など 溶接技術・店員学校も開設

農道改良費は、前年度より一億九千九百九十九円...

消防費

防火水槽四カ所の新設など消防施設を整備



観光費

城址公園に無料の休憩所を建設 ツルの購入費なども計上

財産費

統計調査費は、前年度より一億九千九百九十九円...

選挙費

選挙費は、前年度より一億九千九百九十九円...

公債費

公債費は前年度より一億八千九百九十九円...

予備費

予備費は、予算に見積りしておかなかった支出...

市誌編さん

市誌編さん 準備費などを計上

小田原ケイツ 17・18・19 23・24・25 5月

